



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,592	9.4	218	△12.7	224	△14.9	150	△20.2
30年3月期第1四半期	5,113	7.6	250	15.7	264	22.8	188	27.6

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 130百万円(△28.9%) 30年3月期第1四半期 184百万円(69.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	16.87	—
30年3月期第1四半期	21.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,446	5,531	47.7
30年3月期	11,335	5,506	47.9

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 5,460百万円 30年3月期 5,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,750	2.6	420	3.6	420	0.3	280	△0.3	31.47
通期	21,500	1.3	720	9.8	720	5.8	470	5.5	52.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	9,389,000株	30年3月期	9,389,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	491,243株	30年3月期	491,243株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	8,897,757株	30年3月期1Q	8,897,757株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成30年8月6日に、四半期決算説明資料「第70期(平成31年3月期)第1四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年6月30日)におけるわが国経済は、企業活動においては人件費や原材料費などの増加を受け、企業収益の改善ペースは鈍化したものの、なお高水準の収益を背景に設備投資は堅調に推移しました。

一方で個人消費は、実質個人所得の低迷により伸び悩みが見られました。

海外経済においては、米国では個人消費や設備投資の回復により景気は好調に推移しました。欧州では景気は緩やかに回復しました。中国では、輸出を中心に景気は好調に推移しました。

しかしながら世界経済は、米国の保護主義台頭により先行き不透明感が強まりました。

かかる環境下、当第1四半期連結累計期間における物流業界におきましては、米国およびアジアからの輸入は、持ち直しの動きが見られました。また欧州はおおむね横ばいで推移しました。

輸出に関しても持ち直しの状況で推移しました。

その中で当社取扱いの大きな部分を占める食品の輸入は、畜産物、水産物および農産物は総じて増加となりました。

また、鋼材の国内物流取扱いにおいては微増となりました。

このような状況の中、当企業集団は「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で、第6次中期経営計画「変化による進化」～Diversification～の2年目を迎え、その各施策一つひとつに取り組むとともに積極的な受注活動を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期間比9.4%増の5,592,212千円となりました。

一方で経常利益は昨年度後半からの物流コスト増加の影響を受け、前年同期間比14.9%減の224,878千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期間比20.2%減の150,066千円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、営業収益は前年同期間比7.6%増の4,721,366千円となったものの、物流コストの増加により、セグメント利益は前年同期間比0.8%減の426,057千円となりました。

[鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、鉄鋼製品の国内需要の増加により営業収益は前年同期間比2.0%増の383,304千円となり、セグメント利益は前年同期間比12.4%増の17,451千円となりました。

[その他事業]

その他事業は、連結子会社の追加取得により港湾運送収入が増加した結果、営業収益は前年同期間比38.7%増の487,542千円となり、セグメント利益は前年同期間比45.3%増の53,530千円となりました。

セグメント別営業収益

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	4,386,526	85.8	4,721,366	84.4	334,839	7.6
鉄鋼物流事業	375,679	7.3	383,304	6.9	7,625	2.0
その他事業	351,442	6.9	487,542	8.7	136,100	38.7
合計	5,113,647	100.0	5,592,212	100.0	478,565	9.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前第1四半期連結累計期間 自平成29年4月1日 至平成29年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自平成30年4月1日 至平成30年6月30日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	1,953,208	44.5	2,083,494	44.1	130,286	6.7
水産物	733,401	16.7	802,875	17.0	69,473	9.5
農産物	617,028	14.1	688,924	14.6	71,896	11.7
その他	1,082,887	24.7	1,146,071	24.3	63,183	5.8
合計	4,386,526	100.0	4,721,366	100.0	334,839	7.6

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は11,446,633千円となり、前連結会計年度に比べ111,213千円増加いたしました。これは現金及び預金が55,195千円、有形固定資産が45,402千円、繰延税金資産が46,417千円それぞれ減少した一方、営業収益の増加に伴い受取手形及び営業未収入金が273,716千円増加したことが主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は5,915,627千円となり、前連結会計年度に比べ87,157千円増加いたしました。これは未払法人税等が70,757千円減少した一方、短期および長期借入金が164,699千円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,531,006千円となり、前連結会計年度に比べ24,055千円増加いたしました。これは利益剰余金が43,293千円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,363,558	1,308,362
受取手形及び営業未収入金	3,261,635	3,535,351
たな卸資産	393,697	398,362
前払費用	123,613	119,354
その他	378,988	342,998
貸倒引当金	△28,050	△26,117
流動資産合計	5,493,443	5,678,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	546,987	531,772
機械装置及び運搬具(純額)	291,944	272,566
土地	2,282,394	2,282,394
リース資産(純額)	71,520	64,096
その他(純額)	36,878	33,492
有形固定資産合計	3,229,725	3,184,322
無形固定資産	386,483	374,004
投資その他の資産		
投資有価証券	750,661	787,351
破産更生債権等	10,254	10,104
繰延税金資産	365,540	319,122
その他	1,139,606	1,133,536
貸倒引当金	△40,294	△40,120
投資その他の資産合計	2,225,768	2,209,995
固定資産合計	5,841,976	5,768,321
資産合計	11,335,420	11,446,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,583,328	1,619,538
短期借入金	572,888	865,782
未払法人税等	107,316	36,558
賞与引当金	258,330	129,560
その他	552,963	651,184
流動負債合計	3,074,827	3,302,623
固定負債		
長期借入金	1,337,681	1,209,487
再評価に係る繰延税金負債	161,263	161,263
役員退職慰労引当金	7,296	7,467
退職給付に係る負債	1,025,016	1,026,772
長期未払金	93,651	84,905
その他	128,733	123,106
固定負債合計	2,753,641	2,613,003
負債合計	5,828,469	5,915,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	609,280	609,280
利益剰余金	3,875,607	3,918,900
自己株式	△194,136	△194,136
株主資本合計	5,146,801	5,190,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,613	134,787
土地再評価差額金	56,288	56,288
為替換算調整勘定	25,364	18,556
退職給付に係る調整累計額	62,872	61,067
その他の包括利益累計額合計	288,138	270,699
非支配株主持分	72,011	70,212
純資産合計	5,506,950	5,531,006
負債純資産合計	11,335,420	11,446,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
営業収益	5,113,647	5,592,212
営業原価	3,961,512	4,422,412
営業総利益	1,152,135	1,169,800
販売費及び一般管理費	901,363	950,942
営業利益	250,771	218,857
営業外収益		
受取利息	1,456	425
受取配当金	9,176	7,989
複合金融商品評価益	3,302	—
受取保険金	2,805	2,913
その他	3,496	4,341
営業外収益合計	20,236	15,670
営業外費用		
支払利息	6,143	4,752
複合金融商品評価損	—	3,066
その他	466	1,830
営業外費用合計	6,609	9,648
経常利益	264,398	224,878
特別利益		
固定資産売却益	—	1,500
段階取得に係る差益	3,250	—
特別利益合計	3,250	1,500
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	1,900	—
特別損失合計	1,900	—
税金等調整前四半期純利益	265,748	226,378
法人税、住民税及び事業税	8,782	24,633
法人税等調整額	68,841	50,504
法人税等合計	77,623	75,138
四半期純利益	188,125	151,240
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,174
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,125	150,066

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	188,125	151,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,126	△8,826
為替換算調整勘定	△2,060	△9,774
退職給付に係る調整額	△881	△1,804
その他の包括利益合計	△4,068	△20,405
四半期包括利益	184,056	130,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,056	132,627
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,792

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	4,386,526	375,679	351,442	5,113,647	—	5,113,647
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	6,232	37,869	44,101	△44,101	—
計	4,386,526	381,911	389,311	5,157,748	△44,101	5,113,647
セグメント利益	429,676	15,530	36,835	482,043	△231,271	250,771

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に全社費用231,271千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	4,721,366	383,304	487,542	5,592,212	—	5,592,212
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	6,142	39,281	45,423	△45,423	—
計	4,721,366	389,446	526,823	5,637,636	△45,423	5,592,212
セグメント利益	426,057	17,451	53,530	497,039	△278,182	218,857

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に全社費用278,182千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。